

2007年10月18日

スタンダードチャータード銀行
盲目の冒険家 マイルズ・ヒルトン・バーバー 招聘
～恐怖に立ち向かい、チャレンジするすばらしさを伝えに、初来日～

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、東京支店:東京都千代田区、CEO:マーク・デヴァダソン)は、盲目の冒険家であるマイルズ・ヒルトン・バーバー(58歳)を招聘し、本日10月18日(木)16時～当行丸の内支店でメディアセッションを行いました。今回、初来日となるマイルズは、視覚障害というハンディキャップを抱えながらも、チャレンジをすることのすばらしさを、メディアセッション以外のいくつかのイベントにおいても伝えて参ります。

マイルズ・ヒルトン・バーバーは、当行の視覚障害者支援プログラム“Seeing is Believing”の普及と募金を目的に、2007年3月、マイクロライト・エアクラフト(超軽量飛行機)にて、英国ロンドンをスタート、同年5月にオーストラリア・シドニーまで飛行し、成功させました。この過酷なチャレンジは、55日間、21721.5キロに及び、そのうち250時間以上が砂漠、山脈、森、そして大洋を越えるものでした。この旅は、まさに不可能が可能に変わった特別な体験であり、マイルズと副操縦士(ブライアン・ミルトン、リチャード・メルディスハーディ、そしてジョン・クック)とのパートナーシップは、「パートナーシップは人生を変える」という当行の企業価値を体現してくれました。

今回、初めてとなる日本訪問に際し、マイルズは「わたしは日本語は話せませんが、言葉の壁を越えたものをぜひ伝えたいと思っています」と語りました。「わたしたちの人生において、わたしたちが限界と感じるときでも、夢を実現するためにサポートしてくれる友人やパートナーがいれば、その限界を越えることができるのです」

マイルズは、本日18日英国商工会議所のランチイベントにゲストスピーカーとして参加、またブリティッシュスクール・イン・東京(渋谷区)を訪問し、彼のマイクロライト・エアクラフトによる飛行、そしてその他の彼の冒険をテーマに講演を行いました。そして、当行主催の小・中学生を対象とした「A Life- Changing Partnership～人生を変える友達との出会い」作文・絵画コンテスト入賞者授賞式を同時開催したプレスセッションで、マイルズは当コンテストの入賞者の発表、表彰を行いました。19日には清泉インターナショナルスクール(世田谷区)を訪問、講演を行う予定です。

当行CEOであるマーク・デヴァダソンは、次のように語っています。「マイルズはとてもすばらしい人物です。わたしは、彼の来日が“Seeing is Believing”の普及や募金をサポートするだけでなく、障害があるなしにかかわらず、皆さんが恐怖に立ち向かい、チャレンジする気持ちを喚起することができることを祈っています」

Seeing is Believing について

Seeing is Believing は 2003 年にスタンダードチャータード銀行行員が中心となって回復可能な視覚障害の問題の意識を高め、募金を集めることを目的にグローバルな取り組みとしてスタートしました。すでに開発途上国の 100 万人の視覚回復に必要な募金を集め、視覚障害の問題に取り組んでいる NGO をサポートしてまいりました。現在 2010 年までに 1000 万米ドルの募金を集め、20 カ国において、世界における回復可能な視覚障害の 1/4 以上にあたる 1000 万人の生活をよりよいものにするを目指しています。わたしたちは Vision2020 のような先駆的なアイケア団体と協働し、人々の生活に直接インパクトを与え、将来に向けて、持続可能なヘルスケアを確立するためのプロジェクトをサポートします。

【スタンダードチャータード銀行- アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として】

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100 構成銘柄の上位25 社にランキングされています。

スタンダードチャータード銀行は、創立以来150 年以上の歴史を誇り、アジア太平洋地域・アフリカ・南アジア・中近東・欧州・英国・米州の世界57 カ国で、店舗数1,400 強(当行子会社・提携会社・ジョイントベンチャーを含む)の広範な地域拠点を網羅するグローバル・ネットワークを駆使し、世界で急成長を遂げる数多くの新興成長市場において、事業展開を行っています。

世界有数のインターナショナルバンクとして、全世界で100 以上の国籍のよって構成される60,000 人余名の行員を擁しています。この多様性は、私どもが持つ企業価値の真髄をなすものであり、また、世界がひとつの市場として統合されつつある現在、当行の企業成長を支えています。

スタンダードチャータード銀行は、その戦略的買収・提携、安定した財政基盤、多岐多様にわたる事業分野・金融商品・地域性、そして当行行員に支えられた堅調なオーガニック成長(買収等を含まない事業自体からの収益成長)により、アジア・アフリカ・中近東地域の急成長を続ける新興市場において、当行の優位性を確保しております。また、その総収益9 割強がアジア・アフリカ・中近東地域から計上されています。

スタンダードチャータード銀行は、世界各国で、個人および法人向けサービスに特化したコンシューマーバンキング部門・ホールセールバンキング部門による両面での業務展開を行っていることから、顧客の皆様には、グローバルな視点に立ち、かつ各地域で培った高い知識・ノウハウを駆使して、広範で革新的な金融商品・サービス、また、数々の賞に輝く、実力に裏づけされたファイナンシャル・ソリューションを提供しております。

また、当行グループで一律に適用される企業統治(コーポレートガバナンス)および企業責任(コーポレートリスポンシビリティ)に基づき、地域社会との一体性・環境保護・望ましいコーポレートガバナンスを図り、長期的なスタンスに立ち、確実に、サステナビリティ(持続的成長)のある事業構築を行っております。

2006 年The Banker(ザ・バンカー)賞において、スタンダードチャータード銀行は「最優秀世界銀行賞(グローバル・バンク・オブ・ザ・イヤー)」をはじめ、アジア太平洋とアフリカの主要2 地域において「地域最優秀銀行賞」、6 カ国での「最優秀銀行賞」、および「最優秀CSR(企業の社会的責任)賞」を受賞しております。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880 年にさかのぼり、今年で127 年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店において、約250名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供、そして個人のお客様にはプライオリティバンキングサービスを提供しながら、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語): http://www.standardchartered.co.jp/index_english.html

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp/cb/pb/

スタンダードチャータード銀行 東京支店 コーポレート・アフェアーズ部

・森田 早智

Tel: 03-5511-1245

Sachi.Morita@jp.standardchartered.com

・部長 クリストファー・ドミター

Tel: 03-5511-1361

Christopher.Domitter@jp.standardchartered.com